

事務事業チェックシート

事務事業No 282 事業名 保育所委託事業

[長期総合計画]

分野別目標	3	子供たちがいきいきと育つまち
政策	1	安心して子供を生き育てることのできる環境の整備
施策	1	安心して子供を生き育てることのできる環境の整備
取組方針	2	子供が健やかに育つことのできる環境づくり

事業種別	継続	
事業期間	～	
事業実施の根拠法令		
関連個別計画		
担当課・担当課長 (Tel)	保育こども園課	辻 淳宏 (435-1064)
関連課		

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		民生費	
	項		児童福祉費	
	目		児童保育費	
	大事業		児童保育事業	
事項		私立保育所委託事業		

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的 (「誰・何」をどういう状態にする) ための事業か) 対象; 出産のため里帰り出産する和歌山市民の児童 目的; 市外の希望保育所への入所を円滑に進める。	事業内容 ・保護者の保育所申込に対し、市外希望保育所が公立の場合は市町村、私立の場合は直接該当保育所と連絡をとり、入所の調整、保育実施の委託契約をする。 ・入所決定後は、公立の場合は市町村、私立の場合は直接該当保育所に対し国の保育単価表等に基づき算定した委託料を支出する。				
	実施内容	平成26年度 市外の保育所への保育業務の委託	平成27年度 市外の保育所への保育業務の委託	平成28年度 市外の保育所への保育業務の委託	平成29年度 市外の保育所への保育業務の委託	平成30年度 市外の保育所への保育業務の委託

2 事業コスト

事業費等 (千円)	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	1,749	2,208	11,110	780	10,092	2,664	6,644		6,644	
伸び率 (%)	-	-	535.2%	▲64.7%	▲9.2%	241.5%	▲34.2%	▲100.0%	0.0%	-
人件費	正規職員	3,797	3,598	3,598	3,589	3,589	3,646	3,646	3,646	
	正規職員以外									
小計	3,797	3,598	3,598	3,589	3,589	3,646	3,646	3,646	3,646	
国庫支出金		0								
県支出金										
市債										
その他		0				446				
一般財源 (税等)	1,749	2,208	11,110	780	10,092	2,218	6,644		6,644	
所要人数 (人)	正規職員	0.51	0.48	0.48	0.47	0.47	0.46	0.46	0.46	
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0	0	
主な予算内訳	委託料 6,644千円									

3 目標及び実績

指標名	単位	目標値	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
委託契約保育所数	件	目標値	8	14	14	14	14
		実績値	13	4	6		
		達成度 (%)	162.5%	35.7%	42.9%		
市外保育所延利用月数	月	目標値	20	140	140	140	140
		実績値	28	10	45		
		達成度 (%)	140.0%	7.0%	32.1%		

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	○ 達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	平成26年度までは、和歌山市では市外への出産里帰りに限り広域入所を行ってきたが、平成27年度からは、待機児童もあり、市外で働く保護者が勤務する市町村で保育の利用が可能となった場合にも利用可能とした。広域入所については、受入についても整備する必要があるが、待機児童のある現状では受け入れは難しいと考えられる。
見直し・改善内容	平成27年度からは、市外で働く保護者が勤務する市町村での保育の利用を可能として事業の充実を図った。